

## 1 議会スケジュール

2/25 (水) 開会

3/5 (木)～11 (水) 一般質問

12 (木)～17 (火) 予算審査特別委員会

18 (水)・19 (木) 各常任委員会

25 (水) 閉会

## 2 提出議案等(計43件)

### 【当初提出】

報告 1件

予算議案 18件

一般議案 8件

条例議案 11件

### 【追加提出】

人事議案 5件

# 令和9年4月1日に**江上小・青木小・城島小**を統合



**江上小学校**  
(R7児童数 88名)



**青木小学校**  
(R7児童数 78名)



**城島小学校**  
(R7児童数 282名→統合後R9 408名)

円滑な統合に向け、保護者や地域住民の方々等で構成する**統合準備協議会**を設置し、主に以下の項目について、協議調整を行う

- ▶ 事前交流の実施、スクールカウンセラーの配置拡充、
- ▶ スクールバス等の通学支援、通学路の安全確認 など

# 令和8年度暫定予算案

## 令和7年度3月補正予算案

# 1. 予算編成の考え方

令和8年度の一般会計予算は、令和8年1月に市長選挙が予定されていたため、通常予算を編成する日程との関係により、4月から6月までを対象期間とした『暫定予算』を編成しています。

『暫定予算』は、通常予算を編成するまでの「**つなぎ予算**」として編成するものであり、社会経済活動や市民生活に支障が生じないように、必要な公共サービスを提供する経費を計上しております。

また、喫緊の課題に迅速に対応するため、暫定予算の期間から取り組む必要がある新規・拡充事業については予算計上しています。

特別会計及び企業会計は、会計の性格から例年と同じく通常予算を編成しています。

暫定予算は、地方自治法第218条第2項・第3項に基づき、通常予算（6月議会に提案予定）の成立後は効力を失います。

## 2. 予算の規模

- 令和8年度の一般会計暫定予算の規模は **706億7千万円**
- 令和7年度3月補正予算には、国の補正予算を活用し **31億8千万円** を令和8年度から前倒し

区 分	令和8年度	令和7年度	増 減	伸び率
一般会計（暫定）	<b>706億7千万円</b>	1,593億円	▲886億3千万円	▲55.6%
特別会計	<b>1,214億5千万円</b>	1,098億2千万円	116億3千万円	10.6%
公営企業会計	<b>254億5千万円</b>	263億5千万円	▲9億円	▲3.4%
予算総額	<b>2,175億7千万円</b>	2,954億7千万円	▲779億円	▲26.4%

【参考】 3月補正予算のうち、国の補正予算に伴う令和8年度予算からの前倒し分 **31億8千万円**

# 3. 主な新規・拡充事業



## 【子育て・教育】

- 拡 幼児教育研究所の受入れ体制の強化
- 新 義務教育学校の設置準備開始
- 新 特別支援学校の校舎増築・改修等
- 新 小学校等給食費支援

## 【福祉・暮らし】

- 拡 認知症施策の総合的推進
- 新 介護予防・重症化予防サービスの実施準備
- 新 生活支援交通の再構築検討
- 新 「書かなくていい、待たなくていい市役所」に向けた窓口の設置



## 【経済・基盤】

- 新 バイオ産業の振興
  - スマート農業機械導入の支援拡大
- 新 自主防災組織への支援
  - 福祉避難所の空調整備



## 【魅力・活性化】

- 新 石橋文化センター70周年・久留米シティプラザ10周年
- 新 水沼の里2000年の森記念公園遊具リニューアル
- 新 空家活用モデル事業の実施

## 【物価高騰対策】

- 中学校・保育所等給食費支援
- 高齢者・保育施設等支援
- プレミアム商品券発行支援 等

## 【子育て・教育】

### ⑧ 子ども発達支援センター機能整備事業 25,418千円

発達に課題を抱えた子どもとその保護者を支援するため、臨床心理士等による発達検査や、医師による医療相談、個別訓練の受け入れ枠を増やします。

### 学童保育所運営事業 247,744千円

学童保育所の受け入れ枠の確保をめざし、支援員や補助員の処遇改善等に取り組めます。

#### ⑧ 支援員・補助員の処遇改善

- ・基本給の増額
- ・キャリアアップに伴う賃金加算の拡充

## 【子育て・教育】

### 新 小中連携・一貫教育の推進

2,306千円

久留米市で初めてとなる義務教育学校の設置に向けて、準備委員会を組織し、協議を行います。

#### (仮称)屏水義務教育学校

山本小、草野小、善導寺小、大橋小、屏水中を統合・再編。小学校と中学校の義務教育9年間の一貫した教育課程を一つの学校で実施。令和14年4月の開校をめざす。



### 教育支援総合対策事業

3,660千円

児童生徒が安心して学ぶ教育環境づくりを進めるため、専門家の知見を活かした教育相談体制の充実を図ります。

#### 拡 スクールロイヤー等の活用

275千円

## 【子育て・教育】

### **新** 特別支援学校の校舎増築、改修等 **38,276千円**

久留米特別支援学校の教室不足を解消するため、校舎の増築やレイアウト変更による改修等を行います。

○校舎増築設計・調査委託等 **33,276千円**

○校舎改修 **5,000千円**

### **新** 小学校等給食費支援 **252,206千円**

小学校等では、国の制度により、給食費の抜本的な負担軽減を行います。

小学校等 給食費月額:5,200円 保護者負担:0円(年間57,200円の負担軽減)  
(全額、国県による給食費負担軽減措置)

※小学校等には特別支援学校小学部を含む。

## 【福祉・暮らし】〔介護保険事業特別会計〕

### 認知症施策の総合的な推進

38,033千円

認知症の早期発見、発症・進行予防や、相談対応など、総合的な対策を行います。

#### ● 拡 認知機能検査とトレーニング

13,686千円

認知機能の検査と、軽度認知障害とみられる方に対する認知機能トレーニングを行います。  
また、気軽に参加できるトレーニング体験会を新たに実施します。

#### ● 新 短期集中通所型サービスの実施準備

8,940千円

介護予防・重症化予防に重点化した短期集中通所型サービスの実施に向けた準備を進めます。

#### 短期集中通所型サービス(通所サービスC)

短期間で集中的に支援を行い、高齢者の生活機能改善を目指し自立を促進することを目的としたサービス。

## 交通ネットワーク再構築事業

15,965千円

生活支援交通の再構築に向けて、地域や交通事業者と連携し、持続可能な交通サービスの検討を行います。

### ○宮ノ陣地区「モビリティ・ハブ」機能実証実験 7,898千円

西鉄宮の陣駅周辺において、多様な移動手段を一つの拠点に集約して配置する実証実験を、令和7年度、8年度の2カ年で実施しています。

### 新 持続可能な生活支援交通の検討 8,067千円

生活支援交通に適した今後の交通サービスの検討や地域・交通事業者との協議を行います。

## 【福祉・暮らし】

### 新 窓口改革推進事業

224,683千円

市民の利便性向上と業務の効率化を図るため、「書かなくていい、待たなくていい市役所」の実現(令和9年1月予定)に向けシステム導入や窓口の整備を行います。

- 窓口業務支援システムの導入 109,452千円
- 窓口の環境整備 115,231千円

### 新 窓口業務(賦課業務)の委託〔国保・後期特別会計〕 9,336千円

市民の待ち時間の短縮のため、窓口における保険料の賦課業務を外部委託します。

## 【経済・基盤】

# バイオ産業振興事業

# 44,418千円

日本有数のバイオ産業の拠点となるため、県と共同で「地域バイオコミュニティ」の取組を力強く推進し、有望なバイオ技術を持つ関連企業のさらなる成長と集積を支援します。

## ○バイオ産業振興事業費補助金

# 43,817千円

**新** 社会課題解決の推進 **14,231千円**  
 希少疾患・睡眠課題などの社会課題の解決を目指す企業の製品化・事業化を支援します。

**拡** プラットフォーム事業 **11,310千円**  
 地域の大学の知見を活かし、機能性表示食品届出や睡眠関連商品開発などに取り組む企業を支援する基盤の構築や拡充などをおこないます。



## 【経済・基盤】

### アグリテックシティ推進事業

257,923千円

スマート農業技術を活用して、農業の生産性向上や省力化を図るとともに、農地の大区画化や集積・集約などの環境整備も行うことで、持続可能な農業基盤の構築を支援します。

- **強い農業構造確立推進事業費補助金** 20,927千円  
 規模拡大等に必要な機械・施設の導入や経営判断能力の習得を支援します。
- **水田・園芸農業DX推進事業費補助金** 76,790千円
- **活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金** 159,229千円
- **農地の大区画化・集約化推進事業費補助金** 250千円
- **スマート農業機械運転支援システム実証事業** 521千円

## 【経済・基盤】

### 新 自主防災組織支援事業

1,440千円

校区等の自主防災組織の立ち上げから自走までを、市民活動団体等と連携して支援します。

#### 自主防災組織

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の意識に基づき、地域住民が自主的に結成する組織



### 総合福祉会館避難所整備事業

180,000千円

医療的ケアを必要とする人などが災害時に優先的に避難できる福祉避難所の空調設備を整備します。

# 【魅力・活性化】

## 新 石橋文化センター70周年

# 3,132千円

昭和31年、石橋正二郎名誉市民より寄贈された石橋文化センターの開園70周年事業として、子どもの文化芸術鑑賞の機会を増やすほか、文化センターの歴史を振り返る事業等を実施します。

- こども音楽会(楽器作り、演奏ワークショップ)
- 70周年記念フェスティバル
- 石橋文化センターメモリアル展

等



## 久留米市美術館10周年

# 49,000千円

久留米市美術館では、開館10周年記念事業を実施します。

- 開館10周年記念展  
美の新地平 - 石橋財団アーティゾン美術館のいま
- 開館10周年コレクション ing  
コレクションをともに見る・語る

等



## 【魅力・活性化】

### 拡 久留米シティプラザ鑑賞等事業

21,558千円

久留米シティプラザでは、令和8年度に開館10周年を迎えることから、次の記念事業をはじめ様々な鑑賞・普及啓発事業を実施します。

久留米シティプラザ開館10周年記念

○東京混声合唱団×九州交響楽団  
團伊玖磨と久留米メモリアルコンサート

○演劇『リチャード三世』等  
(シェイクスピア作品)



## 【魅力・活性化】

### 新 水沼の里2000年の森の整備〔3月補正含む〕 57,500千円

水沼の里2000年の森記念公園の魅力向上し、多くの市民の憩いの場とするため、老朽化した遊具をリニューアルします。

### 新 公園施設改修(大型遊具リニューアル) 57,500千円

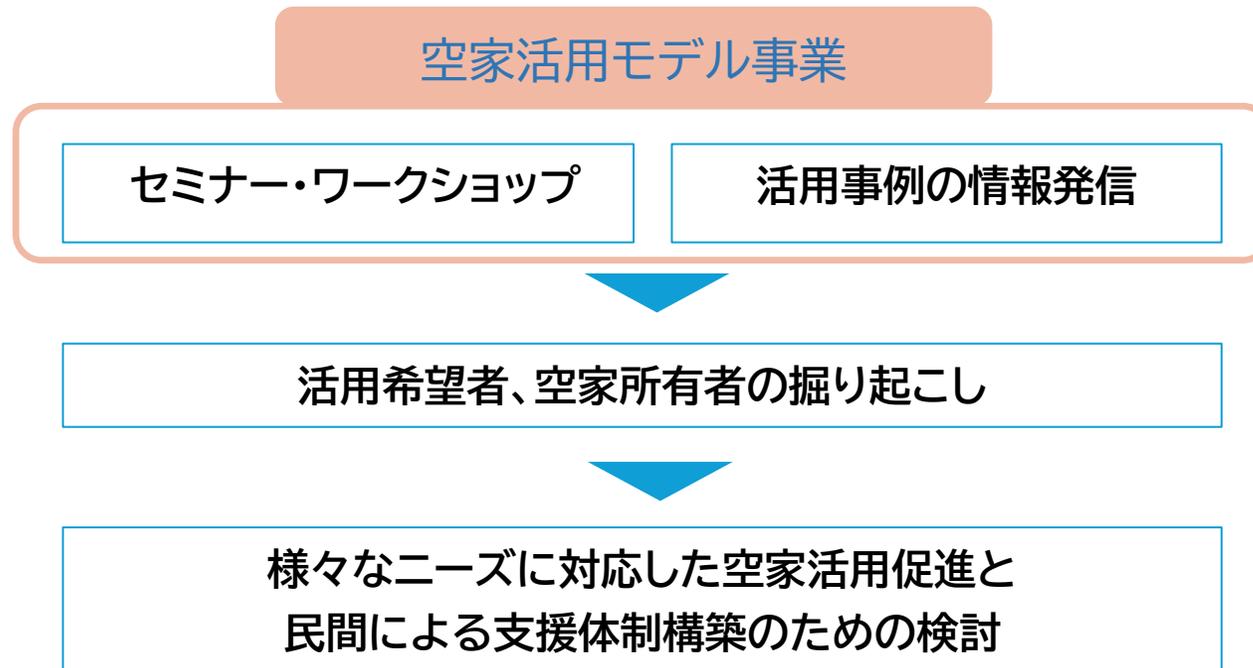


遊具で遊ぶ市民(画像は津福公園)

## 新 空家活用モデル事業

1,718千円

空家を活用したまちの拠点づくりなどの好事例を発信。ニーズの掘り起こしにより空家の利活用を促進するとともに、今後の支援体制の検討を行います。



空家活用事例

## 【物価高騰対策】

### 中学校・保育所等への給食費支援

# 186,039千円

中学校等や保育所等において、市独自に給食費の一部助成を行います。

#### ○学校給食費負担軽減事業(中学校等)

## 40,185千円

令和5年度以降の増額改定分月額1,600円を市独自に支援

※中学校等には特別支援学校中学部と高等部を含む。

小学校、特別支援学校小学部においては、全額、国県による給食費負担軽減措置を実施(7ページ参照)



#### ○保育所等給食支援事業〔3月補正〕

## 145,854千円

保護者等の負担が増えないよう、保育所等に給食費の一部助成を行います。



## 【物価高騰対策】

### 高齢者施設、保育所等への支援〔3月補正〕 295,718千円

エネルギー・食料品価格等の高騰の影響を受けた高齢者施設・高齢者福祉施設・障害者福祉施設・保育所等に支援を行います。

### プレミアム商品券発行への支援〔3月補正〕 155,000千円

物価高騰の中、地域経済の活性化を図るため、県と連携し、商工団体が発行する商品券(プレミアム分)に対し補助を行います。

プレミアム率 : 20%(県10%、市10%)  
販売時期 : 7月頃を予定